

開催日時	令和3年12月18日(土) 14時00分～
開催場所	Web会議
出席者	理事、監事、各部長、委員長、支部長
欠席者	
記録者	中川
議題1	各局毎にミーティングを行い、全体に報告。

全部局で士会事業・予算検討委員会の報告と提言を行った後、各局のミーティングを開始。
「士会事業・予算検討委員会の報告と提言」の内容。
・士会員が思ったほど増加していない。
・予算削減というよりはどのように削減できるかを考える部門である。

【事務局】
「会長の意向の説明」
女性活躍の推進
議事録の充実
士会事業。予算の検討
規定集の編集
制度の見直し

茨城県が補助金をたくさんもらっている。
将来構想として雇用、賃金などを上げていくためには県の事業など行政と連動していく。
予算で見える化をしてほしい。

総務部 広告掲載をしていく。特に問題ない。
財務部
今のところ、予算を見直しているが、大きく修正する部はなかった。会長の意向をきちんと反映するのは今年度は難しいと思われる。
来年度、各部支部、委員会の会計をすべて中央でしていく。会計事務所に委託する予定。事務所で集約はするが、そのまま税理士に丸投げする。四半期ごとに会計を出すという作業はなしにして、その都度使った分だけを送ってもらうことを考えている。
賛助会員を広げていきたい。

厚生部
これまでしてきた託児所も終了を、新人歓迎会も役目を終えました。
その他事業を話し合ったが、メンタルヘルスの相談カウンセリングの相談窓口がないか情報収集を考えている。それで厚生部としての役割は終了と考えている。男女共同参画の研修会を予算計上している。厚生部という名称を変更していく。部員は部員を確認して考える。

広報部
広報作成は今年度よりネットプリントを使用した部員による編集作成になっている。
メリット 全ページカラー化、
デメリット 慣れない作業によるミス。
編集時間が長くなって負担が大きくなった。
来年度の課題 SNS を用いた方向内部のチャット拡散を図っていきたい。
190号の再発行巻 予算では7営業日での発刊予定だったが3営業日になったため8万円予算不足となっている。依

頼先の原稿が遅くなったりするため。
ダブルチェックをした方がいいと考えるので、その方法を考えていく。
スポーツ活動支援部を多く載せてもらった時に枚数がかかり多いときは部員の負担が多くなっていないか。PDFでの提出は編集ができないため、遠慮してほしい。

情報管理部

ホームページは大きな変更しておりません。
ホームページはセルフで行うようにお願いします。
デジタル事業支援部に業務を移行する。そのため、しばらくは大きな変更は控えたい。
HPTAの活用がかなり活発になった。
提案オフィシャルメールもテキストメール以外にもOKしてもらって、局長発信を許可して運用もありではないかと考える。
デジタル事業支援部に業務を委託していくため、部としては廃部にして、三本部長のみ引継ぎやアドバイスの業務をしたいと考える。
デジタル支援部の訳針は管理ではなく業務の支援と考えている。

選挙管理委員会

代議員が理事に立候補するということが決まっていなかったため、規定を変更した。次回は兵庫県の代議員選挙があり、お金がかかっているが、今後は削減していけるのではないかと考えている。

テックスーパ 非営利団体が一般社団法人では何が使えるか分からないため、有効な利用方法を考えてはどうか。

会員管理システム 協会の会員管理システムが新しくなります。兵庫県の会員管理システムのデータ更新が実質出来なくなります。

セキュリティや費用を考えて、今まで兵庫県の会員管理システムを使用していたところは事務所でデータをもらうという形にしたい。もし、どうしてもということがあれば、担当理事を通して意見をください。特に不便になるのは支部だと思えます。

現行のシステムは6月まで残してなくなります。

【学術局】

新生涯学習システムに向けて部を変更を行う。

県学会運営部

32回593名の参加者であった。33回は8月に洲本体育館で行う。
査読をする必要がなくなった

研修部

今年度3回研修会を行った(予定もあり)。参加者が300名を超えている。
ポイント申請作業の手間がかかっている。

卒前教育部

2回研修会を開催。
ポイント申請のところでキーワードを流し、参加の確認を行っている。
取り漏れを考えて1月からA、B、D領域を録画配信する予定。
年々新プロの修了率は下がっていることを共有。

学術編集部

理学療法兵庫を会員にはオンラインで発刊する予定。
アーカイヴに飛ぶのにボタンを一つで出来るようにしていく。
パスワードの変更をしっかりとっていく。
5件助成を行った。応募は10件程度。一人の人や一つの施設に偏りが出てきているため、広報の仕方を工夫していく。

理学療法講習部

協会の助成事業を2回行った。
講習部が主催する研修を2回行った。

県外は一律 1000 円徴収した。県内は無料にした。県内は無断のキャンセルが多かった。

研修部はオンラインで 4 本(対面 2 本、実技 2 本)。

講習部は県士会で 1 本の身になったので腰痛予防を。がんリハに関して複数会を考えている。がんリハは他職種で準備委員会を設置しなければならない規定になっている。

臨床実習講習部

県北部、西部で参加が難しいため、オンラインで開催することを考えている。

生涯学習部

登録理学療法士を育成する部になる。後期を担う C, D 領域は県で考えることになっている。

研修部

カリキュラムコードを調べるとスポーツが多く、ばらつきが多いことが分かった。

カリキュラムコードを効率出来るようにしたい。

全体として、

年度計画をしっかり打ち出していかなければならないと確認した。

オンライン研修会をしたメリットとして、デメリットは資料やオンデマンド配信するときの著作権の問題が起こらないように考えている。

学術局と支部の連携会議 1 支部が 1 回ということになっていたが、2 回以上しているところが多い。参加人数は 50~70、少ないところでは 20-30 というところもありました。100 名を超えるものでも可能という話をした。新生涯学習システムでは 1 時間 1 単位、座長は登録理学療法でなければならない。HPTA メールをしっかり活用している。

新人発表はオンラインの活用がスムーズにできるようになってきている。顔が見える環境を作るという意味でも継続したいという意見が多かった。効率の良い運営ができるようになったら継続しやすい。インセンティブに関しては新人発表をすれば県学会は無料にするなどを考えてもいいのではないか。

【社会局】

理学療法啓発部

ズームで理学療法 1 日体験を行って 33 名。

グッズの作成は来年度は行わない。

保健福祉部

コミュニケーションスキルアップは参加が少ない。

福祉用具研修会など開催した。

資料調査部

働き方アンケートは興味深い内容だった。

スポーツ活動部

来年度サッカーから実技研修会を始める。

健康増進部

リーフレットを作成

フレイル予防の動画を作成。いいものができた。

こども生涯支援部

対面は中止になった。

公開研修を行った。

こども心発達の見逃し配信を行う。

災害対策部

11 月 1 日に JRAT 会議に出席

避難者についての研修会開催。

年度内にもう一つ研修会する予定。

職能部

支部別で管理者ネットワークの勉強会を行った。
今年度もう一巡する予定。

こども生涯部は独自で動画をあげている。
研修会のスケジュールがホームページで並んでいるが、ジャンル分けをしてもらえないかと意見があった。

【支部運営審議会】

新人発表会、症例検討会をどうして進めればいいのかという質問が多かった。これからしっかり詰めて行くことが大切。
年間スケジュールに関してもしっかりしていきたい。
高齢者の事業について、意見交換を行った。うまくいっている市町の参考、早めの準備。
予算の修正の確認と修正をおこなった。

症例検討会の開催に支部が苦慮すると考える。生涯学習部でモデルとなるようなものを来年度早めに組んでもらって、
支部の人に出席してもらって参考にすることはできるか。
支部としては今までの踏襲でできるかなと思っているが、新人発表と並行していきたいと思う。
出来るだけ早く案を提供できるようにしたいと思います。

議題2

全体連絡

- ・ 部長、委員長、に対して今年度内に役員管理者研修をしてほしいと会長が考えているため、1月27日19時から90分開催する。代議員にも参加してもらう予定。
- ・ 来年度から新生涯学習システムが開始されるため、学術は再編することになった。臨床講習部に濱田氏、卒後教育部はなくなり、新たに部が出来ます。
- ・ 近畿学会の開催通知。
- ・ 第33回兵庫理学療法学術大会の開催通知。8月21日。演題募集は1月14日から3月まで。

次回部会
日時・場所

日時;未定
場所;未定